

資料 1 について

リーディングプロジェクト 1

1. ●公共施設は、石油依存度低下につながる・・・について

評価のところで公用車に EV を導入し、化石燃料使用の抑制につながるとありますが、発電は何によるものでしょうか？

ガソリンの消費は減りますが、通常の電力を購入しているのであれば、7～8 割は化石燃料による発電ですので、化石燃料使用の抑制効果は限定的になるかと。EV 自体、生産時の CO2 排出量が多いため、年間 1 万キロ走行して 9 年ほど使わないと、ライフサイクルではガソリン車の方が CO2 排出量は少なくて済むという統計もあります。

⇒電源は現業棟という庁舎の隣にある建物の電気からとってきているので、東京電力からの購入となっています。

2. ●省資源・省エネルギー等に配慮した環境負荷の少ない・・・について

令和 6 年に実施したことに「太陽光発電システム設置事業補助金」と「太陽光発電設備の購入支援」とありますが、違いは何でしょうか？

⇒内容としてはどちらも「太陽光発電システムへの補助金」ということで変わりはありません。

しかし、「太陽光発電システム設置事業補助金」は市の経費、「太陽光発電設備の購入支援」は国庫補助金と予算財源が違うという点があります。

3. ●エコライフ DAY の参加を広い世代・・・について

評価のところで、埼玉県は取組を縮小しており・・・とありますが、何を持って縮小としているのでしょうか？

私の情報では、埼玉県環境部温暖化対策課の成果指標はエコライフ DAY&WEEK に一元化すると聞いています。

私の情報がちょっと古かったでしょうか？

⇒以前は、児童・生徒に対して 1 枚ずつペーパーを配布し、記入していただいたものを報告していましたが、現在は「エコライフ DAY の参加にご協力ください」という任意のスタンスに変更となり、県のホームページにアクセスして、そちらから回答をするというものになったことから、縮小という言葉を用いています。

4. ●各家庭、学校、事業所などで草花や樹木・・・について

緑のカーテンだけでなく、県みどり自然課の取り組みを紹介したり、連携したりした方が効率よく、広く実施できるのではないのでしょうか。

一定の条件はありますが、1 団体年間 10 万円相当の苗木を受け取れます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/midorisaisei-top/supporters.html>

⇒県のホームページを市のホームページからリンクするなど、周知・啓発を行

っていききたいと思います。

5. 数値目標について

省エネ機器設置累計は各年の数値を合計したものが累計値ですね。

太陽光発電システムは年ごとに掲載されているものが合計ですね。

事務的なはなしですがパッと見で理解しづらいように思います。

一方は中間目標に達していることが一目で分かりますが、一方は計算しないと分からないという点で。

なお、太陽光発電のうち 1 基は設置されているだけで発電していないのであれば、設置されている数に入るのか？疑問です。

極論、不法投棄されているぶっ壊れた太陽光発電を拾ってきて公共施設の屋根に置けば、それで 1 基なのか？という。

ごみ排出量の前倒しで目標達成していて素晴らしいと思います。

電気使用量はさらなる工夫が必要ですね。

でも、現在庁舎が使えていないので、こちらは令和 7 年は大幅に少なくなるでしょうけど、今後どのように取り扱うのでしょうか？

⇒「省エネ機器設置累計」については分かりやすい表記ができるように工夫してまいります。

太陽光発電については、今年度、修繕を行っています。

今後はこのような壊れたものは集計しないようにしていきます。

電気使用量については、今後前年との比較は難しいです。今後は、将来事務室として利用する場所でどのように省エネを実現していくか検討していく予定です。

庁舎の電気量については、令和 7 年度は大幅な減少が見込まれますが、火災が起こるまでの使用量と仮設庁舎ができたあとの使用量を計上し、わかりやすいように「火災のため使用量が減少」などの表記をします。

そして、令和 8 年度から本庁舎が復旧するまでは仮設庁舎での電気使用量を計上するようにし、元の庁舎に戻ったら以前のように計上するようにします。

リーディングプロジェクト 2

6. ●市内唯一のビオトープである柴山沼・・・について

柴山沼の樹木について、樹木の状態を注視し・・・とありますが、稲穂通り沿いの北側の桜の木を伐採した理由が知りたいです。

もしかして、クビアカでしょうか？

評価のところに、「引き続き、遊歩道の整備などにより」とありますが、整備とは何を指しますか？

整備の予定を教えてくださいたいです。

⇒桜の木の伐採理由は、ご指摘のとおりクビアカツヤカミキリによって枯れ

てしまったものを伐採しました。

柴山沼の整備計画につきましては、具体的に予定しているものはないです。街づくり課では都市公園の管理も行っており、現在は都市公園の遊具の耐用年数を超えるものについて更新作業を優先して行っており、それが終わったら柴山沼の遊歩道整備などに移行する予定となっています。

7. 数値目標について

保存樹林の指定面積と講演緑地面積がそれぞれR2、R3で減少してしまっています。

現状維持というのは、基準であるR1のことだと思いますが、どのように面積を増加させるのか？見込みは？

保存樹木の本数については、資料2実績報告には、1本が途中解除された旨の記載がありますので、現在は9本という認識で合っていますでしょうか？

川の国応援団については、9団体のうち1つは大山地域元気会議だと思います。

1つはミズベリングイベントが元気会議主催になる前に、実行委員会名義で登録したもので、現在実行委員会は存在しないので、登録を取り下げようと考えています。

今年度、登録の呼びかけに力を入れないとR7未達になりますね。

⇒第1回会議の際に回答しておりますが、面積の増加としては新たな保存樹林の指定を考えていますが、保存樹林の要件である「市街化区域内」であり「1,000㎡以上」を満たす場所はなかなか見つからないのが現状です。

現場に出た際には、ここはどうだろうかという場所の検討はしています。

また、樹木であれば1本の木の指定なので、樹林に比べると指定がしやすいと思われるので、維持していけるように努力します。

また、令和6年度中に指定樹木が解除されているということは、現在は9本という認識であっているかという質問については、その通りです。

川の国応援団については、ホームページ等で周知活動はしているが応募がないというのが実情です。

引き続き周知活動を行い、目標達成に向けて努力していきます。

リーディングプロジェクト3

8. ●「広報しらおか」やホームページ、教育・学習・・・について

白岡まつりのブースで基本計画の概要版を配布されていたのですね。

どのように配られたのでしょうか？説明方法などはどのようにされたのか。

⇒白岡まつりでは、「ご自由にお取りください」という形での配付でした。

特に説明等は行っていません。

9. 数値目標について

基本条例、基本計画の認知度の目標達成が厳しいですね。

いまさらではありますが、毎年調査を行うことでトレンドが見られるので、上昇角度が足りなければもっと力を入れるといった取り組みができたのでは？と考えます。

⇒毎年調査を行うことは難しいです。

インターネットでのアンケートならできるだろうというご意見もあるかと思いますが、それをやろうとすると対象者を絞ることができないため、今まで実施してきた対象者数と整合性が取れなくなってしまうです。

認知度の向上に向けて、講座やイベント等の開催時に概要版を配布するなど、周知に努めます。

資料 2

(関連するので資料 3 について一緒に記載します)

9. 1 ページ 環境課 樹木・樹林保存奨励事業について

前述 7 の通り、指定本数が 1 本減ったのでしょうか？

指定の基準についてどちらに公開されているかわかりませんが、こういう樹木を募集していますなんていう回覧を行政区に回せば 10 本くらい候補が挙がるのでは？と思いますが、いかがでしょうか。

⇒市公式ホームページにおいて、樹木・樹林のページがあり、基準についても掲載しております。

市街化区域内となるとなかなか条件を満たす樹木が見つからず、見つかったとしても地権者に断られてしまうという実情があります。

引き続き指定本数の確保に向けて検討していきます。

10. 2 ページ 環境課 水質検査事業

2 ヶ所で環境基準不適合とのことですが、場所はどちらでその原因はなんだったのでしょうか？

対策は考えられておりますでしょうか。

家庭からの排水なのか、工場からの排水なのか、進行管理票の中に関連する対策項目もあるのではないかと思います。

⇒第 1 回会議の際に回答しておりますが、冬の調査時の隼人堀川と元荒川になり、BOD が基準値を超えたものです。

菁莪学校橋については、工事を行っていたこと、冬のため水量が減っていたことなどが原因と考えられますが、元荒川については原因はわかっていません。

11. 3 ページ 環境課 生き物などの調査

広報誌や市 HP で周知したが、参加者がいなかったとのことですが、SNS の活用は必要ですし、他にも無料でイベント情報を掲載できるサイトを活用することなどはできませんでしょうか。

例えば、

[https //iko-yo.net/events/496320](https://iko-yo.net/events/496320)

[https //iko-yo.net/events/496336](https://iko-yo.net/events/496336)

↑こちらについては、都内、千葉など県外からも人が来てくれましたよ。

あとは、コミセンやスーパーなど対象者に合わせた広報は必要かと。

環境課事務室の前は PR 効果はどの程度あるものなのでしょうか。

⇒いきもの調査はイベントとして行っているものではなく、通年でご自身が見つけた生き物を報告していただくものとなっています。

参加者がいないことについては事実なので、周知・啓発方法についてどのようなものが効果的なのか検討していきます。

12. 4 ページ 環境課 フロンガス

代替フロンは温暖化係数も高く脱炭素のためにも重要です。

ぜひ、エアコン工事などの取り扱い事業者の指導を。

特に個人事業主。

⇒引き続き周知に努めていきます。

13. 環境課 家庭での適切な排水

市公式 SNS の活用を。

⇒広報しらおかへの掲載に併せて発信するなど、啓発に努めていきます。

14. 5 ページ 環境課 ごみの収集分別方法の周知

ご承知の通り、R12 までにプラの分別がスタートします。

若干前倒しスタートの議論もされています。

環境センターと連携し、早めに丁寧な周知、説明を計画的にスタートできるよう準備をしていただければと思います。

⇒蓮田白岡衛生組合とも連携し、市民の方に周知するように努めていきます。

15. 環境課 リスクコミュニケーション

私の所属する彩の国環境大学修了生の会に得意としている方がいるので、ご紹介しましょうか？

JR 東日本や東洋インキで実施した実績があります。

⇒過去に行った実績がありますが、事業者負担が大きかったことがネックとなっています。

しかし、事業者や近隣住民の方にとってメリットの大きい事業なので、引き続き推進を図っていきます。

(可能であれば、市内事業所と実施できればありがたいです。)

16. 6 ページ 農政課 耕作放棄地再生利用

これは柴山の梨団地のことでしょうか？

⇒梨団地のことになります。

17. 7 ページ 商工観光課 古代蓮池管理業務

古代蓮の育成不良の原因は、稲作などと同様に温暖化でしょうか？

⇒はっきりとした原因は不明となっています。

因果関係は不明ですが、数年前にひょうが降り、葉に穴が開いた後から少しずつ弱ってきたと担当課からの報告がありました。

18. 8 ページ 環境課 空家等対策事業

計画以上で進捗している点は素晴らしいですね。

国の施策もあるのかもしれませんが、うまく活用できているのであれば、良いことです。

趣旨とは異なりますが、環境課さんが空家の担当という点だけ以前から変だと思っています。

⇒第1回会議の際に回答しておりますが、空き家については環境課だけで完結できる問題ではないものもあるので、建物に関しては建築課、エリア的なことについては街づくり課、農地のことであれば農政課と、関連部署と連携して対応しています。

空家等対策協議会という組織がありますが、そちらには建築課長に出席いただき、意見をいただいています。

今後も横の連携を強化して、いろいろな視点から空家対策を行っていければと考えています。

19. 10 ページ 環境課 エコドライブ講習の実施

今回は白岡まつりでの実施はしないということになりましたが、いつでもどこでも協力いたしますので、言ってください。

特に、幼稚園、保育園などで保護者向けに実施したいです。(勝手な希望)

子どもの車酔い対策としてのエコドライブは子どもが小さいうちの行わないと、大人になってからも乗り物が苦手は人になってしまいます。

自動車利用者が多いでしょうから職員さん向けも毎年でもやりますよ。

⇒ご配慮ありがとうございます。

依頼させていただく際は、ご協力お願いします。

20. 11ページ 財政課 太陽光発電など石油代替エネルギーの活用

健康増進課 太陽光発電による節電とCO2・・・

それぞれの評価にて、財政課さんは「修繕等を検討」としており、健康増進課さんは「撤去と新規設備の設置を検討」としており、これは考え方が不一致ということでしょうか。

方針が未決定ということでしょうか。

R7の管理票でもどうするのかわかりませんね。

⇒第1回会議の際に回答しておりますが、“はびすしらおか”については、今年度、大規模改修を実施しています。

それに合わせ、7月末の環境省の国庫補助金に応募し、新たな太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めています。

文言を修正させていただくと、健康増進課の「既存施設の撤去・新規設置を進めていく」ように動いています。

21. 財政課 職員の移動における省エネルギーへの取組

財政課さんの視点では、これでヨシなのかもしれませんが、環境課さんの視点で、Scope3 を考えると、通勤距離の短い職員さんにも自転車利用を呼びかけた方が良いのでは？

エコモ財団さんがエコ通勤というものを推進しています。

これに習ってみてはいかがでしょうか？

⇒職員個別の理由があると考えられるため、通勤方法について強制力はありません。

しかし、いい取組ですので周知を行っていきたいと思います。

22. 財政課 庁舎等における省エネルギーへの取り組み

実績評価が「B:計画通り」となっていますが、数値目標によると、電気使用量は前年より増加してしまっており、目標に対しても達成が難しいように思いますが、評価は正しいのでしょうか？

⇒電気使用量が増加してしまったことへの評価ではなく、「シラオカ・スマート・スタイル」という職員の服装を季節や冷暖房に頼りすぎないようにするスタイルを取入れるなどの取組を実施したことについて評価したものとなります。

今後も引き続き、省エネルギーにつながる取組を実施していきます。

23. 13 ページ 環境課 プラごみ削減の呼びかけ

ウォーターサーバーの設置によってプラが削減されたのか？

例えば、庁舎内の自販機のペットボトル飲料の販売本数などをメーカーさんに問い合わせみてはいかがでしょうか？

⇒市内に住んでいる人だけが利用しているのであれば削減量などを把握することはできますが、市外のかた（職員含む）も利用していることや外から持

ってこられたゴミを入れられてしまっていることも考えられるため、一概に販売本数だけでは判断できないと思われます。

環境課としては、プラスチックごみの削減についての意識啓発として周知をしています。

24. 子育て支援課 クッキング

今後の方向性にある「家庭ゴミ減量化の意識啓発」を推進したいのであれば、絶対に「コンポスト」がオススメです。

一部の主婦層ではコンポストが流行っています。

⇒流行については、市長への手紙などの問合せを通じて把握しています。

25. 会計課 グリーン購入法に基づく

グリーン購入ランキングはご存じでしょうか？

<https://www.gpn.jp/info/gpn/3713f2bd-7f17-4a76-b82b-e17916448533>

また、取組の詳細・実績にある「庁舎内で使用していない消耗品を・・・」はグリーン購入とは関係ないのでは？

⇒ランキングについて存じ上げていなかったもので、拝見いたしました。

「庁舎内で使用していない消耗品を…」については、グリーン購入とは関係はないですが、庁内独自の「リユース・リサイクル」の取組として掲載させていただきました。

26. 16 ページ 白岡中学校 緑の学校ファーム

評価の理由にある「当初見込んだ成果」とは？

項目名にある「(2) 環境保全のための意識啓発」に対して、どういった成果があったのか？

⇒当初予定していた「植物を植えること」や「種をまいて収穫する」ということが実現できたことを評価したと伺っています。

また、こちらにつきましては「(1) 環境教育・学習の推進」となっております。

そのため、事業内容に示した活動をすることで、生徒への環境教育・学習を推進するものとなっております。

27. 17 ページ 環境課 環境基本計画の市民事業者への周知

「B:計画通り」となっているが、数値目標を見ると、ちょっと到達しなさそうな数字に見えますが。

多様なツールによって引き続き周知をとありますが、具体策は？

⇒市でできることとして、各種講座開催時やイベント時を狙い、環境基本計画の概要版を配布するなどを実施したことについて、計画通りとしているものとなり、こちらは数値目標への到達を計画通りとしているものではありません。

多様なツールというのは、広報しらおかや市公式ホームページへの掲載、イベント開催時に直接配布することを想定しています。

それ以外にも何かできることがあるか、検討をして周知を図っていきます。

資料 3

(上記に含まれないもの)

28. 6 ページ 教育指導課 景観に対する学習の推進事業

こちらの事務は計画的な街づくりから変更になりましたか？

理由はありますか？

⇒令和 5 年度の実績報告から変更となっています。

教育指導課においてこちらの項目の方が適切だという判断で変更となりました。

29. 12 ページ 環境課 こどもエコクラブ事業

参加の輪を広げていくとありますが、どこに参加すれば良いのでしょうか？

日本環境協会のエコクラブ担当者が 10 年来のお付き合いですが、「福田家」というエコクラブを作ってもいいんですよーなんて言われています。

白岡には、いくつこどもエコクラブがあるのでしょうか？

市民には知られているのでしょうか？

私はコミセンが細々活動しているらしいくらいしか存じ上げません。

⇒こどもエコクラブについては、市公式ホームページで周知を行っています。

ご自身を含めた仲間（最低、子供 1 人と大人 1 人から登録可能）でクラブを登録し、クラブとして活動していただくものとなっています。

市内のクラブ数は個人での登録となっているためわかりませんが、こどもエコクラブのホームページ内にある活動レポートで「西児童館エコクラブ」が登録してあることがわかりました。

30. 14 ページ 環境課 ごみの分別・収集体制の確立

枝木を燃えるゴミにしないような方法をご検討ください。

業者さんについては、シナネンエコワークスに搬入するよう指導を。

シナネンさんは搬入が面倒らしく、多くの事業者は環境センターに搬入しているそうです。

そうなればバイオマス燃料になる枝木が燃やされて終わりです。

どちらが脱炭素に資するか。

ただ、事業者にメリットがなければ、行動は変わらないと思いますが。

市民に関しても同じです。

⇒金額ベースで考えると、環境センターに持込むより、シナネンエコワークに持込んだ方が安く済むということがわかりました。

(環境センター：個人…220 円／10Kg 産業廃棄物…440 円／10Kg)

シナネンエコワーク：個人…198 円／10Kg 産業廃棄物…220 円／10kg)
ただし、個人の場合は白岡市民及び蓮田市民は持込可能ですが、産業廃棄物の場合は契約を結んだ業者のみが搬入可能とのことで、ここがネックとなりそうです。

また、市の業務で発生した枝木を環境センターに持って行く際は料金が免除されますが、シナネンエコワークの場合は処分料がかかってしまうため、これも一つの懸念材料です。

なお、環境センターに搬入された枝木ですが、全て処分するのではなく、葉っぱが多くついていないもの（特に幹）は、シナネンエコワークに搬出しているとのことです。

31. 16 ページ 環境課 広報誌やホームページなどでの情報発信

行政区の回覧に入れるのはハードルが高いでしょうか？

エコドライブに関するペラ 1 くらいでしたら、いつでも作りますのでご相談ください。

⇒行政区への回覧については、担当する地域振興課から行政区長さんの負担軽減のため量を減らしてほしいという依頼が全庁的にされているため、難しい状況です。

なお、この意見は市から発したのではなく、行政区長さんからのお願いとして上がってきた意見を反映させたものとなっています。